

経営管理科 3年D組

教科	商業	科目(単位)	財務会計Ⅱ (4単位)	選択相手科目	ビジネス情報
使用教科書	財務会計Ⅱ (実教出版)				
授業形態	通常授業・分割授業・T T				

※分割授業とは、クラスを少人数クラスに分割して授業を行うことを意味します。

※T T (チームティーティング)とは、複数の教師がチームを組んで指導にあたることを意味します。

1 科目の目標

財務会計に関する知識と技術を習得させ、会計責任を果たすことの重要性について理解させるとともに、会計情報を提供し、活用する能力と態度を育てる。

2 科目の内容と授業の進め方

- ・財務諸表の作成に関する会計処理方法や考え方など企業会計の一連の手続きについて、2年次の復習を行い演習問題で理解を深める学習を行います。
- ・会計情報をより活用するために、その情報分析や財務指標の計算が出来るように十分な演習を行います。
- ・日商簿記1級や全商簿記上級の基礎部分の内容に関連した項目を学習していきます。
- ・12月に全商財務会計検定・全商財務諸表分析検定を受験目標とします。

3 学習の方法

- ・板書事項はノートに写し、説明を聞いて自分なりに言葉を補い整理し、理解しましょう。
- ・専門用語の意味を理解し、使い分けられるようにしましょう。
- ・理解できないことは、そのままにしないで必ず質問しましょう。
- ・課題を出しますので、授業で習ったことはその課題で必ず復習しましょう。
- ・演習を行うときは、問題をよく読みポイントを把握して、要領よく解けるようにしましょう。
- ・演習を行いながら、自分の苦手分野を把握し、その分野の演習がスムーズにできるまで、何度も繰り返し解きましょう。
- ・電卓の機能を駆使し、少しでも早く計算ができるように工夫しましょう。

4 課題・補習について

- ・随時、問題集の点検を行います。
- ・課題の点検を行います。
- ・12月に全商財務会計検定・全商財務諸表分析検定を受験するため、必要に応じ補習を実施します。

5 この授業で取得可能な資格 (検定試験)

- ・全商財務会計検定・全商財務諸表分析検定

経営管理科 3年D組

教 科	商 業	科目(単位)	財務会計Ⅱ (4単位)	選択相手科目	ビジネス情報
-----	-----	--------	-------------	--------	--------

6 年間の学習計画

月	単 元 名	学 習 の 内 容	評価方法 (課題等)
4	第1章 財務会計の 基本概念	<ul style="list-style-type: none"> 財務諸表の構成要素の意味および構成要素の個々の定義について理解する。 財務諸表の構成要素の認識と測定について理解する。 財務諸表の構成要素の定義に対するアプローチには、資産負債アプローチと収益費用アプローチがあることを理解する。 わが国の会計基準の特徴を整理して、会計基準の国際的統合の流れを理解する。 	行動観察 問題集点検 プリント点検 小テスト 前期中間考査
5	第2章 資産負債ア プローチと 収益費用ア プローチ		
5	第3章 会計基準の 国際的統合		
6	第4章 資産会計	<ul style="list-style-type: none"> 資産の評価基準である原価基準と時価基準について整理し、公正価値の意味を理解する。 割引現在価値についての計算技法を、例題を通じて習熟する。 金融資産（有価証券、金銭債権）の評価方法について理解する。 有形固定資産の評価方法（圧縮記帳）について理解する。 主な引当金を挙げ、その概念と処理方法を理解する。 社債の期末評価と償還の処理について理解する。 退職給付引当金の意味を明らかにし、退職給付引当金に関する一連の会計処理を理解する。 純資産の意味と分類を整理する。 新株式予約権の意味と一連の会計処理を理解する。 分配可能資産の計算を通して習熟する。 株主資本等変動計算書を作成する目的および作成方法を理解する。 ファイナンス・リース取引の会計処理について理解する。 オペレーティング・リース取引の会計処理について理解する。 	行動観察 問題集点検 プリント点検 小テスト 前期期末考査
7	第5章 負債会計		
8	第6章 純資産会計		
9	第7章 リース会計		
10	第8章 税効果会計		
10	第9章 外貨建換算 会計		
11	第10章 キャッシュ フロー計算書		
12	第11章 企業結合会計	<ul style="list-style-type: none"> 一時差異と繰延税金資産・繰延税金負債理解する。 外貨建取引の意義、為替換算と為替差損益について理解する。 外貨建項目の決算時の会計処理について理解する。 キャッシュ・フロー計算書の意義と必要性について理解する。 直接法および間接法によるキャッシュフロー計算書の作成手続きを理解する。 全商財務会計検定・全商財務諸表分析検定	行動観察 問題集点検 プリント点検 小テスト 後期中間考査
1	第12章・第13章 連結財務諸表の 作成		
2	第14章 財務諸表の 活用		
2	第15章 監査と職業 会計人		
		<ul style="list-style-type: none"> 合併会計、とくに吸収合併の会計処理について理解する。 支配の獲得の意味と支配獲得日の処理について理解する。 持分の変動には、支配獲得までに取得段階と支配獲得後追加があることを理解する。 連結財務諸表の作成方法について理解する。 株式価値や株式指標など株価の判断材料について理解する。 監査のプロセスと監査手続きと監査報告書について理解し、職業会計人の社会的役割について理解する。 	行動観察 プリント点検 学年末考査